

令和元年度 議会事務事業評価結果表（平成30年度決算分）

委員会名	総務教育常任委員会	委員長名	織田 正樹
事業名	トライやる・ウィーク推進事業		

評価	事業内容：要改善	予算規模：現状維持
審査の経過	<p>本事業の目的は、中学2年生が地域社会で体験活動することによって、自分の生き方を見出す「心の教育」を推進するとともに、「生きる力」の育成を図ることである。</p> <p>しかしながら、事業開始から20年以上経過した現在、単なる職業体験と捉えられていると懸念されることから、学校・家庭・地域が、事業の意義や目的を再認識し、連携していくための改善が必要であるとの意見が多くあった。</p> <p>また、アンケート結果からは、生徒・保護者・関係者・教職員ともにおおむねよい評価が出ているものの、受入先事業所の確保が困難であること、教職員に対する負担が大きいことなどが課題として読み取れる。</p> <p>委員から、「生きる力の育成を図る手段の一つとして、本事業は有効に作用していると考える」との現行通りとする意見があったが、事業内容の改善を求める意見が多くあった。</p> <p>改善に向けた提案として、「心の教育や生きる力を育むために、家庭が支援やフォローを行えるよう、事業目的を周知する」「受入先事業所や指導ボランティアの確保については、教職員の負担軽減になるよう、校区推進委員会の推進委員に分担させる」「受入先事業所の確保につなげるために、商工会議所等と情報交換を行う」「教職員の負担軽減のため、専属の職員の加配を行う」「受入先事業所の確保が困難な校区では、交通費を支給して、エリアを拡大する」などの意見があった。</p> <p>予算規模については、教職員の加配や交通費の支給等の拡充を求める意見があったものの、「この事業だけで教職員の加配のための予算を拡充するほどではなく、教育現場における全体的な問題としての検討が必要である」との現状維持とする意見があった。</p> <p>委員会は、多数決の結果、事業内容「要改善」・予算規模「現状維持」の評価と決定した。</p>	

